

基準6 学習成果

(1) 観点ごとの分析

観点6-1-①：各学年や卒業（修了）時等において学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、単位修得、進級、卒業（修了）の状況、資格取得の状況等から、あるいは卒業（学位）論文等の内容・水準から判断して、学習成果が上がっているか。

【観点到係る状況】

各学部・教育学研究科・医学工学総合教育部における標準就業年限内卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率は、資料6-1-①-1に示すとおりである。標準就業年限内卒業（修了）率は博士課程を除いて概ね75%以上である。「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率は、博士課程を除いて概ね90%以上となっている。学士課程、修士課程と比べ博士課程の修了率が低いのは、資料6-1-①-2に示すように社会人学生の受け入れが多いためである。

単位修得率については、資料6-1-①-3に示すとおりである。全学共通教育科目については90%以上、専門科目についても一部学部の専門科目を除き90%以上の修得率となっている。成績分布については資料6-1-①-4、資料6-1-①-5に示すとおりである。

進級状況については、医学部で各年次への進級要件を定めている。進級率は資料6-1-①-6のとおりである。学生の休学・退学・留年（標準修業年限超過学生）状況については、資料6-1-①-7に示したとおりであり、低率で推移している。

資格取得状況については資料6-1-①-8に示すとおりである。平成23、24年度とも、医師国家試験合格率は90%以上、看護師、保健師、助産師国家試験合格率は97%以上で、いずれも全国平均を上回っている。教育人間科学部の学生は、卒業要件である免許以外の教員免許や学校図書館司書教諭免許および学芸員の資格を取得している。また工学部においては、教育職員免許取得に必要な授業科目を履修し、高等学校教諭の免許状を取得している。なお、医学工学総合教育部の工学領域の修了生のうち、平成23年度27名、平成24年度16名、平成25年度18名が高等学校専修免許の資格を取得している。

学生は卒業論文・学位論文等について、国内外での学会・シンポジウムやコンクール・制作展でその学習成果を発表している。受賞をしている学生も多く、その一部を資料6-1-①-9に示した。

資料6-1-①-1 標準就業年限内卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率

年度	学 部															学部全体	
	教育人間科学部		医学部								工学部					標準修業年限内	×1.5年内
	標準修業年限内	×1.5年内	標準修業年限内				×1.5年内				標準修業年限内			×1.5年内			
			4年制	6年制	4年制	3年次編入	全体	6年制	4年制	3年次編入	全体	4年制	3年次編入	全体	4年制	3年次編入	全体
平成21年度	85.8%	92.2%	89.0%	98.3%	100.0%	92.9%	97.0%	98.3%	97.7%	78.1%	81.0%	78.2%	89.7%	94.1%	89.8%	82.8%	91.9%
平成22年度	90.4%	94.2%	77.0%	95.2%	100.0%	84.8%	95.0%	96.7%	95.9%	81.7%	91.7%	82.1%	92.4%	100.0%	92.7%	84.6%	93.7%
平成23年度	89.0%	96.2%	76.2%	95.0%	100.0%	83.9%	96.0%	98.3%	97.0%	79.2%	75.0%	79.0%	88.5%	90.5%	88.6%	82.4%	92.0%
平成24年度	89.9%	96.7%	81.0%	80.0%	100.0%	81.1%	98.0%	96.8%	97.7%	82.1%	85.7%	82.2%	91.5%	95.8%	91.7%	83.9%	94.0%
平成25年度	89.6%	95.0%	62.5%	92.1%	100.0%	73.3%	93.0%	98.3%	95.3%	81.2%	75.0%	81.0%	90.0%	95.8%	90.3%	81.5%	92.4%

※平成24年度教育人間科学部、工学部改組。

年度	教育学研究科						医学工学総合教育部								
	修士課程		教職大学院課程		全体		修士課程		博士課程						
	標準修業年限内	×1.5年内	標準修業年限内	×1.5年内	標準修業年限内	×1.5年内	標準修業年限内	×1.5年内	標準修業年限内			×1.5年内			
									4年制	3年制	全体	4年制	3年制	全体	
平成21年度	89.5%	100.0%			89.5%	100.0%	86.0%	91.1%	75.0%	54.8%	58.0%	81.8%	81.6%	81.7%	
平成22年度	90.0%	94.7%			90.0%	94.7%	86.2%	91.3%	81.0%	53.5%	62.5%	90.5%	69.6%	76.1%	
平成23年度	87.5%	93.3%	100.0%		91.5%	93.3%	83.7%	90.5%	77.3%	58.3%	65.5%	75.0%	71.4%	72.0%	
平成24年度	95.8%	87.5%	93.3%		94.9%	91.5%	83.7%	87.3%	70.0%	45.5%	53.1%	85.7%	72.1%	76.6%	
平成25年度	86.2%	95.8%	100.0%	93.3%	90.5%	94.9%	84.5%	89.5%	80.0%	25.0%	41.2%	77.3%	69.4%	72.4%	

※平成22年度教育学研究科教職大学院の課程新設及び修士課程改組。

(出典：標準修業年限内卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率)

資料6-1-①-2 博士課程学生の社会人在籍率(社会人学生数/在学生数)

研究科・課程名	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
医学工学総合教育部博士課程	51.5%	67.9%	67.8%	61.0%	73.6%

(出典：各年度学校基本調査)

資料6-1-①-3 単位修得率

全学共通教育科目

学部名等	平成24年度			平成25年度		
	履修登録者数(A)	単位修得者数(B)	単位修得率(B/A)	履修登録者数(A)	単位修得者数(B)	単位修得率(B/A)
全学共通教育科目	17,568	15,917	90.6%	17,174	15,739	91.6%

専門科目

学部名等	平成24年度			平成25年度		
	履修登録者数(A)	単位修得者数(B)	単位修得率(B/A)	履修登録者数(A)	単位修得者数(B)	単位修得率(B/A)
教育人間科学部	13,410	12,792	95.4%	11,551	11,090	96.0%
医学部	12,139	11,573	95.3%	13,130	11,684	89.0%
工学部	28,206	23,607	83.7%	26,382	22,011	83.4%
生命環境学部	2,042	1,950	95.5%	4,926	4,706	95.5%
教育学研究科	722	717	99.3%	642	632	98.4%
医学工学総合教育部(修士)	4,913	4,636	94.4%	4,178	3,932	94.1%
医学工学総合教育部(博士)	799	742	92.9%	798	762	95.5%
特別支援教育特別専攻科	298	296	99.3%	382	381	99.7%

(出典：教務課提供資料に基づき企画部企画課にて作成)

資料6-1-①-4 全学共通教育科目成績分布

部門別	受験者数	平成24年度							
		成績分布							
		0-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-100
生活と健康	1,758	0.46%	2.22%	3.92%	8.53%	11.77%	31.57%	26.39%	15.14%
キャリア形成	902	2.77%	6.54%	10.31%	17.41%	20.40%	23.61%	12.53%	6.43%
語学教育	6,708	5.19%	12.54%	9.69%	13.52%	15.31%	16.76%	10.75%	16.24%
日本語科目	126	0.00%	0.79%	4.76%	9.52%	11.90%	34.92%	19.84%	18.27%
人文科学	1,477	2.98%	5.01%	5.28%	9.48%	16.79%	25.66%	17.81%	16.99%
社会科学	2,116	7.33%	10.16%	9.97%	13.89%	15.93%	19.71%	12.81%	10.20%
自然科学	1,741	10.97%	14.82%	9.36%	14.24%	13.90%	14.93%	9.76%	12.02%
健康科学	1,915	3.13%	6.11%	7.15%	12.90%	19.11%	19.53%	15.35%	16.72%
全学共通教育科目計	16,743	4.96%	9.58%	8.40%	12.87%	15.68%	20.10%	13.86%	14.55%

部門別	平成25年度								
	受験者数	成績分布							
		0-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-100
生活と健康	1,729	0.34%	1.88%	3.07%	10.01%	16.44%	29.98%	23.72%	14.56%
キャリア形成	729	2.22%	5.99%	5.10%	12.53%	13.30%	16.85%	13.97%	30.04%
語学教育	6,442	3.98%	11.70%	8.18%	12.73%	14.18%	15.91%	12.15%	21.17%
日本語科目	104	1.59%	5.56%	3.97%	7.94%	11.11%	20.63%	18.25%	30.95%
人文科学	1,621	2.03%	7.31%	4.94%	9.41%	15.98%	27.56%	21.73%	11.04%
社会科学	2,062	7.42%	7.51%	8.84%	12.05%	17.44%	19.66%	13.33%	13.75%
自然科学	1,856	10.40%	9.71%	8.96%	11.83%	12.41%	16.94%	16.89%	12.86%
健康科学	1,737	3.29%	4.86%	5.48%	7.94%	13.99%	19.37%	16.71%	28.36%
全学共通教育科目計	16,280	4.34%	8.41%	7.02%	11.38%	14.71%	19.48%	15.52%	19.14%

※受験者数は、授業科目ごとの履修登録者数から、無資格者数、未受験者数を除く。

(出典：教務課提供資料を基に企画部企画課にて作成)

資料6-1-①-5 専門教育科目成績分布

学部・研究科別	平成24年度								
	受験者数	成績分布							
		0-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-100
教育人間科学部	13,053	2.51%	4.14%	3.74%	8.19%	11.04%	28.34%	19.60%	22.44%
医学部	11,805	0.97%	10.16%	8.60%	12.20%	14.72%	18.59%	15.45%	19.31%
工学部	26,665	11.82%	9.07%	8.18%	11.15%	12.94%	15.61%	12.58%	18.65%
生命環境学部	2,029	3.89%	7.49%	7.84%	11.38%	19.32%	18.38%	13.85%	17.85%
教育学研究科	717	0.00%	0.14%	0.14%	1.26%	1.95%	12.55%	23.57%	60.39%
医学工学総合教育部(修士)	4,755	3.36%	2.10%	1.91%	4.92%	6.16%	15.71%	21.51%	44.33%
医学工学総合教育部(博士)	758	2.77%	0.26%	0.53%	1.58%	4.22%	19.00%	17.94%	53.70%
特別支援教育特別専攻科	297	0.34%	2.69%	1.01%	1.68%	3.70%	16.16%	13.47%	60.95%

学部・研究科別	平成25年度								
	受験者数	成績分布							
		0-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-100
教育人間科学部	11,272	1.77%	3.00%	2.94%	7.27%	11.74%	27.09%	21.42%	24.77%
医学部	11,761	0.65%	10.60%	8.08%	12.99%	15.03%	18.84%	14.05%	19.76%
工学部	24,864	11.47%	9.75%	7.55%	11.07%	12.56%	14.98%	13.11%	19.51%
生命環境学部	4,855	3.07%	5.33%	5.07%	9.12%	12.63%	18.13%	17.59%	29.06%
教育学研究科	633	0.16%	0.00%	0.16%	0.32%	2.05%	10.11%	23.22%	63.98%
医学工学総合教育部(修士)	4,084	3.72%	2.35%	1.89%	4.95%	5.68%	14.20%	18.81%	48.40%
医学工学総合教育部(博士)	771	1.17%	0.65%	1.43%	1.30%	2.08%	19.71%	21.79%	51.87%
特別支援教育特別専攻科	381	0.00%	0.00%	0.52%	1.31%	3.67%	18.11%	13.39%	63.00%

※受験者数は、授業科目ごとの履修登録者数から、無資格者数、未受験者数を除く。

(出典：教務課提供資料に基づき企画部企画課にて作成)

資料6-1-①-6 進級状況(進級判定を実施している学部のみ記載)

学部等名	対象進級 先年次	進級率	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		進 級 要 件					
医学部医学科	2年次	進級率	91.15%	95.31%	96.15%	94.57%	88.64%
		・全学共通教育科目の単位数が基準を満たしていること。 ・修得すべき専門教育科目の全てに合格していること。					
	3年次	進級率	88.14%	79.31%	84.25%	86.39%	84.78%
		・全学共通教育科目の単位数が基準を満たしていること。 ・修得すべき専門教育科目の全てに合格していること。					
	4年次	進級率	85.71%	95.80%	86.60%	94.85%	90.30%
	・修得すべき専門教育科目の全てに合格していること。						
5年次	進級率	93.26%	98.96%	96.52%	93.18%	94.03%	
・修得すべき専門教育科目の全てに合格していること(CBT及びOSCを含む)。							
医学部看護学科	2年次	進級率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
		・修得すべき専門教育科目の全てに合格していること(卒業試験を含む)。					
		進級率	98.36%	93.85%	94.20%	98.41%	98.41%
・全学共通教育科目の単位数が基準を満たしていること。							

		・修得すべき看護専門科目の全てに合格していること。				
3年次	進級率	96.88%	93.65%	90.48%	94.37%	93.85%
	・全学共通教育科目の単位数が基準を満たしていること。 ・修得すべき看護専門科目の全てに合格していること。					
4年次	進級率	98.57%	98.57%	95.65%	95.31%	92.86%
	・修得すべき看護専門科目の全てに合格していること。					

(出典：医学部提供資料)

資料6-1-①-7 休学・退学・留年状況

休学状況

学部名等	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	在学者数 (A)	休学者数 (B)	休学率 (B/A)	在学者数 (A)	休学者数 (B)	休学率 (B/A)	在学者数 (A)	休学者数 (B)	休学率 (B/A)
教育人間科学部	889	22	2.5%	828	20	2.4%	752	16	2.1%
医学部	973	15	1.5%	993	20	2.0%	1,003	33	3.3%
工学部	2,102	40	1.9%	2,031	53	2.6%	1,891	41	2.2%
生命環境学部	-	-	-	142	2	1.4%	274	3	1.1%
教育学研究科	87	1	1.1%	84	3	3.6%	84	2	2.4%
医学工学総合教育部(修士)	628	20	3.2%	621	24	3.9%	551	21	3.8%
医学工学総合教育部(博士)	261	29	11.1%	282	30	10.6%	299	28	9.4%
特別支援教育特別専攻科	19	0	0.0%	16	0	0.0%	21	0	0.0%

※1 在学者数は、5月1日現在の在学者数とした。

※2 教育人間科学部、工学部の休学者数には、改組前の学部在学生を含む。

退学状況

学部名等	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	在学者数 (A)	退学者数 (B)	退学率 (B/A)	在学者数 (A)	退学者数 (B)	退学率 (B/A)	在学者数 (A)	退学者数 (B)	退学率 (B/A)
教育人間科学部	889	6	0.7%	828	11	1.3%	752	6	0.8%
医学部	973	6	0.6%	993	9	0.9%	1,003	5	0.5%
工学部	2,102	29	1.4%	2,031	41	2.0%	1,891	26	1.4%
生命環境学部	-	-	-	142	0	0.0%	274	0	0.0%
教育学研究科	87	1	1.1%	84	1	1.2%	84	1	1.2%
医学工学総合教育部(修士)	628	21	3.3%	621	26	4.2%	551	23	4.2%
医学工学総合教育部(博士)	261	9	3.4%	282	9	3.2%	299	10	3.3%
特別支援教育特別専攻科	19	0	0.0%	16	0	0.0%	21	0	0.0%

※1 在学者数は、5月1日現在の在学者数とした。

※2 教育人間科学部、工学部の休学者数には、改組前の学部在学生を含む。

標準修業年限超過学生の状況

学部名等	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	在学者数 (A)	標準修業 年限超過 学生数 (B)	留年率 (B/A)	在学者数 (A)	標準修業 年限超過 学生数 (B)	留年率 (B/A)	在学者数 (A)	標準修業 年限超過 学生数 (B)	留年率 (B/A)
教育人間科学部	889	22	2.5%	828	27	3.3%	752	28	3.7%
医学部	973	27	2.8%	993	35	3.5%	1,003	35	3.5%
工学部	2,102	120	5.7%	2,031	134	6.6%	1,891	116	6.1%
生命環境学部	-	-	-	142	0	0.0%	274	0	0.0%
教育学研究科	87	1	1.1%	84	3	3.6%	84	4	4.8%
医学工学総合教育部(修士)	628	45	7.2%	621	49	7.9%	551	50	9.1%
医学工学総合教育部(博士)	261	55	21.1%	282	47	16.7%	299	56	18.7%
特別支援教育特別専攻科	19	0	0.0%	16	0	0.0%	21	0	0.0%

※1 在学者数は、5月1日現在の在学者数とした。

※2 標準修業年限超過学生数は、学校基本調査「最低在学年超過学生数」のデータを計上した。

※3 教育人間科学部、工学部の標準修業年限超過学生には、改組前の学部在学生を含む。

(出典：学校基本調査及び教務課提供資料に基づき企画部企画課にて作成)

資料6-1-①-8 資格取得状況

医師・看護師・保健師・助産師国家試験合格状況(新卒者)

資格区分	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
	合格者数	合格率	全国平均	合格者数	合格率	全国平均	合格者数	合格率	全国平均
医師	92人	96.8%	90.2%	100人	90.9%	89.8%	92人	96.8%	90.6%
看護師	58人	100.0%	90.1%	54人	98.2%	88.8%	62人	95.4%	89.8%
保健師	65人	97.0%	86.0%	60人	100.0%	96.0%	61人	93.8%	86.5%
助産師	6人	100.0%	97.2%	7人	100.0%	98.1%	4人	100.0%	96.9%

学部卒業生の資格取得状況

	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	教育人間科学部	工学部	教育人間科学部	工学部	教育人間科学部	工学部
幼稚園教諭	14		16		20	
小学校教諭免許	108		114		104	
中学校教諭	92		113		105	
高等学校教諭	88	75	104	46	82	41
特別支援学校教諭	22		21		15	
学芸員	18		11		21	
図書館司書教諭	21		24		21	

(出典：各学部支援課提供資料)

資料6-1-①-9 学生の主な受賞等の状況(平成24年度～平成25年度)

平成24年度	<p><教育人間科学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ブルクハルト国際音楽コンクールピアノ部門「審査員賞」受賞 ○第13回北関東ピアノコンクール「入選」 ○Contemporary Computer Music Concert (CCMC) 2013 電子音響作品入選 <p><医学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○(独)日本学生支援機構 平成24年度優秀学生顕彰事業 学術分野：「大賞」・「奨励賞」受賞 ○文部科学省主催「第2回サイエンス・インカレ」口頭発表部門：「文部科学大臣表彰」受賞 ○文部科学省主催「第2回サイエンス・インカレ」ポスター発表部門：「科学技術振興機構理事長賞」受賞 <p><工学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○第86回日本薬理学会年会 年会優秀発表賞 ○第21回ポリマー材料フォーラム 優秀発表賞 ○「第56回日本医真菌学会総会」セレクトッドシンポジウム 優秀演題賞 ○第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会 入選 ○第59回日本臨床検査医学会学術集会 学会賞(検査・技術賞) ○「Water and Environment Technology Conference 2012」優秀発表賞 ○第28回日本セラミックス協会 関東支部研究発表会 特別賞
平成25年度	<p><教育人間科学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本体力医学会 第26回体力医学会賞受賞 ○富士の国やまなし国文祭「幕絵甲子園2013」山日YBS社長賞 ○第13回やまなし県民文化祭 奨励賞 <p><医学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○第6回メルク賞 優秀賞 ○第86回日本薬理学会 年会優秀発表賞 <p><工学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「Visual Computing/グラフィクスとCAD 合同シンポジウム2013」 「グラフィクスとCAD 研究会優秀研究発表賞」 ○日本地球惑星科学連合2013年大会 学生優秀発表賞 ○Water and Environment Technology Conference 2013 WET 優秀発表賞 ○平成25年度表面技術協会 進歩賞 ○公益社団法人自動車技術会 大学院研究奨励賞 ○言語処理学会第19回年次大会 言語処理学会年次大会若手奨励賞 ○2013年 第74回応用物理学会秋季学術講演会 講演奨励賞 <p><生命環境学部></p> <ul style="list-style-type: none"> ○NPPO 法人日本インターンシップ推進協会(J I P C)インターンシップ成果発表会 奨励賞

(出典：学部支援課提供資料)

【分析結果とその根拠理由】

各学部・教育学研究科・医学工学総合教育部における標準就業年限内卒業(修了)率は博士課程を除いてすべて75%以上であり、「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率は、博士課程を除いて概ね90%以上となっている。単位修得率については、概ね90%以上であり、退学・休学・留年率も低率で推移している。資格取得状況については、医師、看護師等の国家試験合格率は全国平均を上回っており、教育人間科学部、工学部では、教員免許・資格取得者を輩出している。

卒業論文・学位論文の内容・水準についても、受賞等の実績から一定のレベル以上の成果をあげていることが判断できる。

以上のことから、各学年や卒業(修了)時等において、学生が身につけるべき知識・技能・態度等については学習成果が上がっていると判断する。

観点6-1-②： 学習の達成度や満足度に関する学生からの意見聴取の結果等から判断して、学習成果が上がっているか。

【観点に係る状況】

各学部や各研究科では、学習の達成度や満足度に関する学生からの意見聴取のため、学部長と学生との懇談会、(後掲資料7-2-②-4)、学生による授業アンケート(後掲資料7-2-②-1、後掲資料8-1-①-7)を実施している。

学部長と学生との懇談会では、学生の満足度、達成度に関する意見として、率直で意欲的な意見を聞くことができるなど、今後の授業改善等を図るうえで有意義な機会となっている(資料6-1-②-1)。

このほか、学生による授業アンケート結果からは、概ね8割の学生が、シラバスに記載されている授業の具体的目標を7割以上達成できたと回答しており(資料6-1-②-2)、「授業でわからないことがあったとき、あなたはどうしましたか」という問いでは、「自分で勉強し直した」と「友達・先輩に聞いた」の2項目で約7割となっており、授業の理解に関して自己の課題を見つけ、各自積極的に授業に取り組んで学習していた。

受講者が10名以下の授業については教員が学生の受講状況を把握しながら講義を行っており、また匿名性が確保できず適切な評価ができないことから授業アンケートは行っていないが、意見聴取などにより授業評価を行い、学生の要望などをすぐにフィードバックすることもできている。

大学院の講義は受講学生が少ないものが多いことから、授業アンケートを行ってこなかったが、平成26年度から実施することとした。

資料6-1-②-1 学部長と学生との懇談会での意見

学 部	学生の意見等
教育人間科学部	・基礎段階の重要性は認めながらも「専門教育を1年次から学びたい」「座学だけではなく、グループワークやゼミ形式など多様で、双方向的な授業形態」を希望していることがわかった。今後の改善を図る上で有意義な機会となった。
医学部	・1年次で専門科目が少なすぎで、2年次で急に増えて大変なので1年次に専門科目を下げしてほしい。他大学では1年から解剖やチュートリアルをしているのでとの意見があり、一部の基礎医学系科目を1年次生から実施することとした。
工学部	・「現状のアジア諸国との交流に加えて欧米諸国との交流を望む声」があり、意欲のある学生を今後さらに引き上げていくにはどうすればよいかを考える上での、一つのきっかけが得られたと考えられる。
生命環境学部	・「前期の数学や化学の授業内容が高校の復習中心だったのがショックだった。高校の復習をすることでこれから高度な専門科目を学ぶときに理解しやすくていいと思う。しかし、せっかく入ったので高校レベル以上の内容を1年生のうちから学びたかったと感じた」との意見があり、「基礎数学」、「基礎数学演習」の授業を能

力別クラスで実施することとした。
 ・前期の他の授業には生命工学に関連した専門的な科目がなかったため、基礎ゼミで生命工学科に入学したと再認識することができ、モチベーションを持ち続けることができた。また、学科内の友達や学科の先生とも話すことができ、いい機会だった。
 ・生命工学とは関係のない教科もとることができ、知識や視野の幅も広がり、他学部の人とも交流することができてよかった。
 など、講義の内容や難易度について改善を望む声があるものの、全般的には学習の達成度や満足度に関して肯定的な意見が寄せられている。

(出典：各学部提供資料)

資料6-1-②-2 平成25年度学生による授業アンケート結果(抜粋)

2013年度前期 授業の振り返りシート (全体)												山梨大学	
												履修者数	31,558
												回答者数	25,856
												回答率	81.9%
2.あなたはシラバスにある授業の具体的な達成目標をどの程度達成できたと思いますか。													
	90%以上	80~89%	70~79%	60~69%	60%未満	標準偏差	全体平均	教育学部平均	医学部平均	工学部平均	生命環境学部平均		
達成状況	2,154	8,935	8,653	4,032	742	0.950	3.32	3.55	3.54	3.17	3.31		
3.この授業で分からないことがあったとき、あなたはどうしましたか。重視した順番に3つ以内で選んでください。													
	1番目に重視		2番目に重視		3番目に重視								
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率							
1.教員に授業中に質問した	2,792	10.80%	942	3.64%	680	2.63%							
2.教員に授業終了後に質問した	1,280	4.95%	1,736	6.71%	1,029	3.98%							
3.自分で勉強し直した	10,481	40.54%	4,968	19.21%	2,645	10.23%							
4.友達・先輩に聞いた	7,162	27.70%	7,148	27.65%	2,134	8.25%							
5.図書館に行って調べた	551	2.13%	1,405	5.43%	2,043	7.90%							
6.インターネットを活用した	1,806	6.98%	3,056	11.82%	3,957	15.30%							
7.そのままにした	541	2.09%	426	1.65%	1,246	4.82%							
8.わからないことはなかった	992	3.84%	125	0.48%	293	1.13%							
9.その他	86	0.33%	57	0.22%	70	0.27%							
2013年度後期 授業の振り返りシート (全体)												山梨大学	
												履修者数	26,990
												回答者数	21,541
												回答率	79.8%
2.あなたはシラバスにある授業の具体的な達成目標をどの程度達成できたと思いますか。													
	90%以上	80~89%	70~79%	60~69%	60%未満	標準偏差	全体平均	教育学部平均	医学部平均	工学部平均	生命環境学部平均		
達成状況	2,102	7,721	6,844	3,111	595	0.960	3.37	3.72	3.57	3.17	3.41		
3.この授業で分からないことがあったとき、あなたはどうしましたか。重視した順番に3つ以内で選んでください。													
	1番目に重視		2番目に重視		3番目に重視								
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率							
1.教員に授業中に質問した	2,719	12.62%	825	3.83%	576	2.67%							
2.教員に授業終了後に質問した	1,153	5.35%	1,691	7.85%	842	3.91%							
3.自分で勉強し直した	8,584	39.85%	3,876	17.99%	2,345	10.89%							
4.友達・先輩に聞いた	5,829	27.06%	5,749	26.69%	1,736	8.06%							
5.図書館に行って調べた	322	1.49%	718	3.33%	1,135	5.27%							
6.インターネットを活用した	1,450	6.73%	2,559	11.88%	3,247	15.07%							
7.そのままにした	403	1.87%	253	1.17%	678	3.15%							
8.わからないことはなかった	869	4.03%	94	0.44%	186	0.86%							
9.その他	92	0.43%	49	0.23%	70	0.32%							

※設問2の集計結果欄の平均値は、60%未満を1、90%以上を5として5段階で付した値により換算した加重平均

(出典：教務課提供資料「学生による授業アンケート(授業の振り返りシート)集計結果」)

【分析結果とその根拠理由】

各学部において、学部長と学生との懇談会を定期的に行い、率直で意欲的な意見を聞くことができるなど、今後の授業改善等を図るうえで有意義な機会となっており、また、授業アンケートでは、シラバスにおける学習の達成目標について概ね8割の学生が7割以上達成できたと評価している。さらに、授業の理解を深めるための学生自身の取組みの設問の回答からは、自己の課題を見つけ、積極的に授業に取り組んで学習していたことが窺える。

以上のことから、学習の達成度や満足度に関する学生からの意見聴取の結果等から判断して、学習成果が上がっていると判断する。

観点6-2-①： 就職や進学といった卒業(修了)後の進路の状況等の実績から判断して、学習成果が上がっているか。

【観点に係る状況】

学部卒業生の進路状況については、各学部が担う人材養成の分野を反映し、教育、製造業、医療・福祉分野、または公務員への就職が多く、平成24年度では、県内出身者192名中144名が地元山梨で活躍している(資料6-2-①-1)。大学院等への進学率は、概ね30%を超えて推移しており(5年間の平均は32.6%)、就職希望者に対する就職率は、学部全体の平均としてほぼ96%(5年間の平均は95.9%)となっている(別添資料6-2-①-I)。

大学院修士課程修了生の博士課程への進学率は、5~6%前後で推移している。また修士課程及び博士課程の就職希望者に対する就職率は、研究科全体の平均として概ね95%以上となっている(別添資料6-2-①-II)。大学院修士課程修了生の就職については、学部同様、教育、製造業、医療・福祉分野への就職率が高い。また博士課程修了生は、医療・福祉分野や研究機関を含めた教育分野への就職が多い傾向にある(資料6-2-①-2)。

資料6-2-①-1 平成24年度卒業者の進路状況

区分 Classification		就職 Job						進学その他 Graduate School and Others				合計 Grand Total		
		企業 Company Employee	教員 Teacher	公務員 Public Employee	医療従事者等 Medical Staff	看護師等 Nurse Hygienist and Midwife	計 Total	臨床研修医 Clinical Trainee	進学 Graduate School	諸学校 Various Schools	その他 Others		計 Total	
学部 Faculties	教育人間科学部 Faculty of Education and Human Sciences	学校教育課程 Division of School Education	24	53	11			88		20	3	5	28	116
		生涯学習課程 Division of Lifelong Learning	7	4	3			14		5	1		6	20
		国際共生社会課程 Division of Social and Cultural Studies	32	3	2			37		3		5	8	45
		ソフトサイエンス課程 Division of Interdisciplinary Sciences	9	12	9			30		3		4	7	37
	医学部 Faculty of Medicine	医学科 School of Medicine						0	98			12	110	110
		看護学科 School of Nursing					58	58		1		1	2	60
	工学部 Faculty of Engineering	機械システム工学科 Department of Mechanical Systems Engineering	58		2			60		40		5	45	105
		電気電子システム工学科 Department of Electrical and Electronic Engineering	33		2			35		38		3	41	76
		コンピュータ・メディア工学科 Department of Computer Science and Media Engineering	45		3			48		31		7	38	86
		土木環境工学科 Department of Civil and Environmental Engineering	28		19			47		20	1	2	23	70
		応用化学科 Department of Applied Chemistry	8		1			9		45	1	3	49	58
		生命工学科 Department of Biotechnology	12		3			15		19		4	23	38
		循環システム工学科 Department of Ecosocial System Engineering	29	1	7			37		10	1	4	15	52
		クリーンエネルギー特別教育プログラム Special Educational Program of Clean Energy						0		7			7	7
ワイン科学特別教育プログラム Special Education Program of Enology and Viticulture						0		6			6	6		
学部合計 Total of Faculties		285	73	62	0	58	478	98	248	7	55	408	886	

(出典：山梨大学2013 データ版 P15)

進路・就職状況(URL: http://www.career.yamanashi.ac.jp/modules/introduction/index.php?content_id=7)

資料 6-2-①-2 平成 24 年度修了生の進路状況

区分 Classification		就職 Job						進学その他 Graduate School and Others				合計 Grand Total		
		企業 Company Employee	教員 Teacher	公務員 Public Employee	医療従事者 Medical Staff	看護師等 Nurse/Registered and Midwife	計 Total	臨床研修医 Clinical Trainee	進学 Graduate School	諸学校 Various Schools	その他 Others		計 Total	
大学院教育学研究科修士課程 Graduate School of Education Master's Course	教育支援科学専攻 Science of Education Support	1	1				2				1	1	3	
	教科教育専攻 Science of Teaching and Learning	2	14	2			18		2			2	20	
大学院教育学研究科 教職大学院の課程 Graduate School of Education Master of Education's Course	教育実践創成専攻 Advanced Studies on Transforming Educational Practice		13				13				1	1	14	
大学院医学工学総合教育部 Department of Education Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering	医科学専攻 Medical Science	4	2	1			7		2		2	4	11	
	看護学専攻 Nursing Science	7	1	1			9		2		2	4	13	
	機械システム工学専攻 Mechanical Systems Engineering	33					33		1			1	34	
	電気電子システム工学専攻 Electrical and Electronic Engineering	33					33				1	1	34	
	コンピュータ・メディア工学専攻 Computer Science and Media Engineering	35					35				8	8	43	
	土木環境工学専攻 Civil and Environmental Engineering	11		1			12				2	2	14	
	物質・生命工学専攻 Applied Chemistry and Biotechnology						0				1	1	1	
	応用化学専攻 Applied Chemistry	41					41		3	1		4	45	
	生命工学専攻 Biotechnology	22		2			24		1		3	4	28	
	人間システム工学専攻 Human-Oriented Engineering	16					16				1	1	17	
	持続社会形成専攻 Sustainable Society Studies	6		2			8		1	1	1	3	11	
	組込み型統合システム開発教育プログラム Embedded and Integrated System Development	11		1			12					0	12	
	国際流域環境科学特別教育プログラム River Basin Environmental Science	6		2			8		1			1	9	
	クリーンエネルギー特別教育プログラム Special Educational Program on Clean Energy	3					3		2			2	5	
	ワイン科学特別教育プログラム Special Education Program of Enology and Viticulture	4					4					0	4	
	4年博士課程 Doctor's Course(4Year's)	先進医療科学専攻 Advanced Medical Science		3		9		12				1	1	13
		生体制御学専攻 Medical Science of Bioregulation				1		1				2	2	3
3年博士課程 Doctor's Course(3Year's)	ヒューマンヘルスケア学専攻 Nursing and Health Science		3				3					0	3	
	人間環境医学工学専攻 Human Environment Medical Engineering	2	5	2	1		10				2	2	12	
	機能材料システム工学専攻 Engineering for Functional Material Systems		7	1			8					0	8	
	情報機能システム工学専攻 Information and Mechanical System Engineering		2	2			4				1	1	5	
環境社会創生工学専攻 Natural, Biotic and social Environment Engineering	5	1	1			7				1	1	8		
特別支援教育特別専攻科 Special Advanced Program in Special Support Education	障害児教育専攻 Education for Children with Disabilities	1	9				10		3		1	4	14	
大学院・専攻科合計 Total of Graduate Schools and One-Year Advanced Program		243	61	18	11	0	333	0	18	2	31	51	384	
合計 Grand Total		528	134	80	11	58	811	98	266	9	86	459	1,270	

(出典：山梨大学 2013 データ版 P15)

別添資料 6-2-①-I 過去 5 年間学部卒業生進路状況(進学率・就職率)
 別添資料 6-2-①-II 過去 5 年間大学院修了生進路状況(進学率・就職率)

【分析結果とその根拠理由】

就職希望者に対する就職率は、学部全体の平均としてほぼ 96%以上、修士課程及び博士課程の就職希望者に対する就職率は、概ね 95%以上となっている。学部卒業生の大学院等への進学率は概ね 30%を超え、また、大学院修士課程修了生の博士課程への進学率は 5～6%前後で推移している。卒業・修了生は各学部・研究科が担う人材養成の分野を反映し、教育、製造業、医療・福祉、公務員へ就職し、活躍している。

以上のことから、就職や進学といった卒業(修了)後の進路の状況等の実績から判断して、学習成果が上がっていると判断する。

観点 6-2-②： 卒業(修了)生や、就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断して、学習成果が上がっているか。

【観点に係る状況】

卒業(修了)生や就職先等の関係者からの意見聴取は、各学部、研究科、総合教育部の教育の特色に合わせて実施されている。取組み状況と意見聴取結果は、資料 6-2-②-1～資料 6-2-②-4 に示すとおりである。

教育人間科学部、教育学研究科及び教職大学院の卒業(修了)生からは、少人数授業による手厚い指導、実践的

な学習等を挙げて評価する意見が得られている。また、山梨県教育委員会からは、卒業(修了)生の教員としての実践力や専門性等が「十分ある、十分に身につけている」として評価する意見が得られている。

医学部及び医学工学総合教育部医学系においては、教育研究及び学生支援に関するアンケートを実施しており、概ね、本学で学んだことに満足しているという結果が得られている。

工学部、医学工学総合研究部(工学領域)の卒業生・修了生への調査によって明らかになったのは、外国語、国際的な感覚が在学時に身につかず、その後の社会人生活で不足していると感じていることである。一方、学部卒に比較して大学院修了の場合はほとんどすべての項目でより高い自己評価をしている。また、これから重要となってくる能力において数多くの項目を指摘している。これらは、本学部の大学院教育が、単に知識を修得させるだけでなく、様々な能力の重要性を認識させ、それらの能力を身につけさせていることを示唆していると考えられ、本学の大学院教育の有効性が認められる。一方、卒業生として工学部に求めるのは、学部と大学院を合わせた専門的な基礎知識や応用知識などを企業との連携の中で実践的に身につけることである。

また、「2014 大学案内」などの広報誌、大学ホームページに掲載している卒業生のメッセージ、ナンダイ仕事人等から、在学時の学習成果が卒業(修了)後に十分活かされていることが窺われる(資料6-2-②-5、資料6-2-②-6)。

資料6-2-②-1 各学部、研究科における卒業(修了)生への意見聴取取組状況

学部、研究科名	意見聴取のための取組
教育人間科学部	山梨大学での学びに関する卒業生(現職教員)への意見聴取(不定期実施)
医学部	卒業生へ向けての本学の教育研究及び学生支援に関するアンケート
工学部	卒業生への教育に関するアンケートを平成25年度に実施
教育学研究科	山梨大学での学びに関する修了生(現職教員)への意見聴取(不定期実施)
医学工学総合教育部(医学系)	修了生へ向けての本学の教育研究及び学生支援に関するアンケート
医学工学総合教育部(工学系)	修了生への教育に関するアンケートを平成25年度に実施

(出典：各学部提供資料)

資料6-2-②-2 卒業(修了)生への意見聴取結果等

学部、研究科名	聴取結果等
教育人間科学部	最近の卒業生数名に意見聴取を行ったところ、少人数授業での手厚い指導、教育ボランティア、実践的な学習などを評価する意見が寄せられた。少人数授業による実践的指導という本学部の特色ある教育が卒業生(現職教員)に評価を得ていることがわかる(別添資料6-2-②-I)。
医学部	概ね、本学で学んだことに満足しているという結果が得られたが、意見として、国試に落ちた学生のフォロー支援、チュートリアルは無くすべき、医学英語が乏しい等があった(別添資料6-2-②-II)。
工学部	外国語、国際的な感覚が在学時に身につかず、その後の社会人生活で不足していると感じている。(別添資料6-2-②-III)
教育学研究科	最近の修了生数名に意見聴取を行ったところ、教育ボランティア、手厚い指導、幅広い専門教育などを評価する意見が寄せられた。教員としての高度な専門的能力の育成をめざす本研究科の教育が修了生(現職教員)に評価を得ていることがわかる。
医学工学総合教育部(医学系)	概ね、本学で学んだことに満足しているという結果が得られた。
医学工学総合教育部(工学系)	学部学生と同様に外国語、国際的な感覚が在学時に身につかず、その後の社会人生活で不足していると感じているが、各調査項目とも学部生より身についた能力が高いと評価している。

(出典：各学部提供資料)

資料6-2-②-3 各学部、研究科における就職先等への意見聴取取組状況

学部、研究科名	意見聴取のための取組
教育人間科学部	山梨県教育庁義務教育課への教員養成に関するアンケート(平成25年)
医学部	看護師、医師等の求人を訪れる他病院の看護部長及び採用担当の看護師長等から本学の卒業生の活躍状況について、聴取している。
工学部	アンケート調査を平成25年度に実施
教育学研究科	山梨県教育庁義務教育課への教員養成に関するアンケート(平成25年)
医学工学総合教育部(工学系)	アンケート調査を平成25年度に実施

(出典：各学部提供資料)

資料6-2-②-4 就職先等への意見聴取結果等

学部、研究科名	聴取結果等
教育人間科学部	過去5年間の本学部卒業生50名について、「教育に対する情熱」があるか、「課題を解決する実践力」、「教科の指導力・専門教科等の知識・技能」、「社会性やコミュニケーション能力」、「児童・生徒への理解力」が身につけているかを尋ねたところ、いずれの項目についても、「十分ある/十分身につけている」または「ある/身につけている」とされた者が95%以上であった。本学部の卒業生が、教員として高い評価を得ていることがわかる(別添資料6-2-②-IV)。
医学部	他病院の看護部長及び採用担当の看護師長等から、本学の卒業生は、優秀で頑張っているとの活躍報告を口頭でいただいている。
工学部	アンケート調査から「自らの考えをプレゼンテーションする力」や「パソコンやインターネットなどITツールを活用する能力」が特に高く評価されている。
教育学研究科	過去5年間の本研究科教育実践創成専攻(教職大学院)修了生16名について、「学校改善・授業改善の構想力・実践力」、「教育に関する高度の実践的専門性」、「教育実践をリードする力」が身につけているかを尋ねたところ、いずれの項目についても、「十分身につけている」または「身につけている」とされた者が100%であった。本専攻修了生の実践的教育力が高く評価されていることがわかる。(別添資料6-2-②-IV)
医学工学総合教育部(工学系)	アンケート調査から大学院修了生の自己評価は、社会人教養、倫理観・人間性、実行する能力、積極性、チーム能力などで学部卒と比較して高く評価している。特に、学部学生の高い評価以外に「仕事でのコミュニケーション能力」と「多様な価値観を受け入れる協調性」が高く評価されている。

(出典：各学部提供資料)

資料6-2-②-5 2014 大学案内「卒業生からのメッセージ」(抜粋)

Dream



**経験を重ねながら
学び続ける教師でありたい。**

等の力は障害を持っていて、保護者の送迎の時などには、一瞥に付いて行ったりしましたので、時々、支援学校の先生とお話しする機会がありました。先生は、いつも明るく、先生方同士が話して、とても楽しそうに話を交わりました。あの時、特別支援教育に「関わりたい」と思ったのは、中学生ぐらいからですが、こうした体験が大きく影響していると思います。

現在は、ふじざくら実業学校で、小学生の授業を担当しています。一般の小学校では、「学級に担任だと思えますが、特別支援学校は、子どもとの関わりが、教員がチームになって経験を受け持ちます。教員が、子ども3人に対して教員が2人という体制になっています。例えば、今年のように1年生が1人しかいない場合、1人より輩団の方が難関がわくということから、複式学級のかたちになっています。授業も、両手両足を個人授業、音楽や体育などは集団で行います。

教員になって2年目の経験は、「楽しい」、大学で学んだことはたくさんありま

卒業生からのメッセージ Message from OB & OG



**子どもたちが元気で明るいで
今日は何もすることがあるのかなと楽しみます。**

山梨大学の大学院を出て教員になり、3年目を迎えました。今日は年長のクラスを担当し、社会科の地球と歴史を教えています。年中学校の生徒は元気で明るい子が多いので、毎日、「今日はどんなことがあるのかな」と楽しみます。新しいクラスを持ってそれほど時間が経っていないのですが、クラスの子どもたちは、レクリエーションや学年の行事などの時も、まわりのことを気遣い、声をかけあひながら、みんな一つになって頑張ろうと取り組んでくれるので、そんなとあるととてもいいと思います。私は、先生としてそうやって持ち手を人々にしながら、時にはこういふ方がいいよ!というように、子どもたちとコミュニケーションを大切にしていながら、教師のいく授業をしていきたいと思っています。

●Profile
東立ふじざくら支援学校教諭
伏見 拓哉さん
平成24年 教育人間科学部
学校教育課程(障害児教育コース)卒業

(出典：2014 大学案内 P32)

資料6-2-②-6 卒業生からのメッセージ、ナンダイ仕事人ウェブサイト

先輩・教授からのメッセージ
先輩・教授から話を聞きたい

寺地 昭太くん
様子を読む

在学生からのメッセージ

卒業生による在学時のメッセージ

卒業生からのメッセージ

人物発掘(教授からのメッセージ)

梨大倶楽部
本学OB・在学生・授業・研究のご紹介

授業のヒットコマ
びっくあつぷレッスン

Close up People

仕 ナンダイ 仕事人

世の中に自分の足跡を残せ。
Special Report

(URL:http://www.yamanashi.ac.jp/modules/prospect_top/)

- 別添資料 6-2-②-I 教育人間科学部卒業生への意見聴取結果
- 別添資料 6-2-②-II 卒業生に向けてのアンケート集計(医学部)
- 別添資料 6-2-②-III 工学部・大学院卒業・修了生アンケート結果
- 別添資料 6-2-②-IV 山梨県教育委員会義務教育課へのアンケート調査結果

【分析結果とその根拠理由】

各学部・教育学研究科・医学工学総合教育部における卒業(修了)生や就職先の関係者への意見聴取では、教育の成果について高い評価が得られている。

以上のことから、卒業(修了)生や、就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断して、学習成果が上がっていると判断する。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- ・教育人間科学部・教職大学院の卒業・修了生は教員としての実践力や専門性について、高い評価を得ている。
- ・医学部では、毎年多くの学生が卒業判定に合格しているとともに、医師・看護師等国家試験の合格率も高い。

【改善を要する点】

該当なし